

先生方をサポートします

研究成果等をご活用ください

平成25年度 研究一覧

教科・領域等

- 学力向上につながる小学校国語科の授業づくり
—全国学力・学習状況調査の結果を基にした指導法・評価の工夫—
- 学力向上につながる中学校国語科の授業づくり
—全国学力・学習状況調査の結果を基にした指導法・評価の工夫—
- 学力向上につながる小学校算数科の授業づくり
—全国学力・学習状況調査の結果を基にした指導法・評価の工夫—
- 学力向上につながる中学校数学科の授業づくり
—全国学力・学習状況調査の結果を基にした指導法・評価の工夫—
- 学力向上につながる小学校理科の授業づくり
—全国学力・学習状況調査の結果を基にした指導法・評価の工夫—
- 大地への認識を高める地域素材を生かした授業づくり
—教室で実感を伴って学習できる地学教材と授業プランの作成—

特別支援教育

- 通常学級における特別支援教育の手法を取り入れた授業の進め方
—実技等を伴う学習における「分かる」「できる」授業づくりを目指して—
- 特別支援教育に関するハンドブックの作成
—気付きを支援に生かすためのハンドブック「自己肯定感を育てる特別支援教育」—

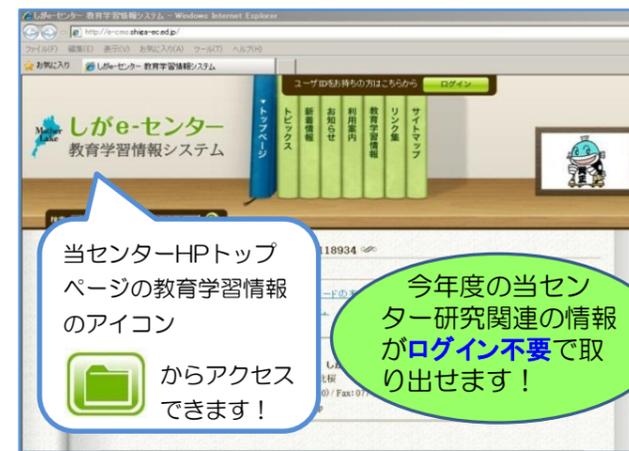
生徒指導・人権教育・道徳教育

- 共感的な人間関係をはぐくみ、共に支え合う学級集団を目指して
—学級活動と朝や帰りの会を関連させて取り組む学習プログラム—
- 共感的な人間関係をはぐくみ、安心感のある学級集団を目指して
—学級活動と朝や帰りの会を関連させて取り組む学習プログラム—
- 問題事象の未然防止に向けた生徒指導の推進
—スクールカウンセラーと協働したアンガーマネジメント・プログラムの構築とその効果的な導入—
- 人間としての在り方生き方を考えさせる高等学校道徳教育の推進
—家庭科における道徳性の育成を意識した指導の工夫—

情報教育

- 小学校における情報モラル教育の推進
—情報モラル教育パッケージの作成による授業づくり支援—
- ICT活用サポートガイド「ICT宝箱」の開発
—教員のICT活用指導力を高める「ICT宝箱」の作成—
- 英語科における学習意欲を高める自己評価の工夫
—「CAN-DOリスト」を活用した授業デザインとICT機器を活用した「振り返り」—

●教育学習情報システムの活用を！



当センターHPトップページの教育学習情報のアイコンからアクセスできます！

今年度の当センター研究関連の情報がログイン不要で取り出せます！

「特別支援教育の手法を取り入れた授業の進め方とは？」「共感的な人間関係をはぐくむ学級集団づくりとは？」他にも、研究で使ったたくさんの教材等があります。先生方の悩みに応える情報にアクセスできます。

●教育の情報化推進事業を活用ください！

- 市町や各校で実施される研修会に講師を派遣します。(研修内容例)
 - ◆校務のセキュリティ向上・情報モラル教育の推進
 - ◆電子黒板やタブレット端末等の有効活用
 - ◆スキルアップ！コンピュータ操作
- 要望に応じて研修内容を組み立てたり、実技実習を組み入れたりすることも可能です。

●平成25年度 「第56回 研究発表大会」

2月14日(金)に当センターで研究発表大会を開催しました。県内外から多数の教育関係者にご参加いただきありがとうございます。なお、3月には研究紀要要旨集を各校に配付します。ぜひ、ご活用ください。

●あなたの市町で研究成果を発表します！

市町・学校園での研修会等において、センター所員が研究の成果を発表します。センターホームページの「研究事業」から各研究の紀要・要旨集等を参照の上、活用したい研究の発表依頼を、下記までご連絡ください。

TEL 077-588-2311
FAX 077-586-0011

●特別教育相談について

発達障害等がある子どもについて、校園・家庭での対応や配慮について、相談員がアドバイスします。

対象…本人(幼児・児童・生徒)、保護者、教職員等
方法…来所相談、電話相談
相談日…月～金曜日(センター休館日を除く)
相談時間… 9:00～12:30
13:30～16:30
連絡先…TEL 077-588-2505

志 苑

滋賀県総合教育センター所報
〒520-2321 滋賀県野洲市北桜
TEL 077-588-2311 FAX 077-586-0011
http://www.shiga-ec.ed.jp/

平成26年 2月

Vol.127



教職員の実践的指導力の向上をめざして

次長 中邨 哲也

例年に増して寒さ厳しい中にも、ようやく春の訪れを予感させる時節となりました。

平成25年度の当センター諸事業も皆様方のご支援、ご協力のお陰をもちまして無事終えることができました。厚くお礼申し上げます。

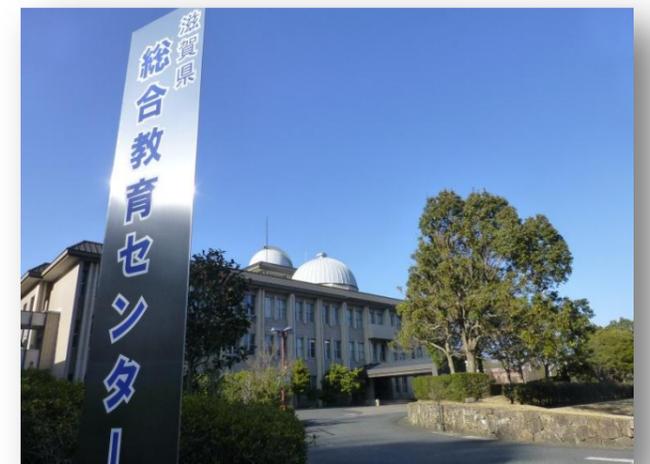
1月末の集計では初任者研修などの指定研修や希望研修で延べ15,689の方が受講され、センターから学校園等への学力向上支援では181件訪問させていただき、延べ5,207人も先生方に参加をいただきました。

本年度の研修においては、専門性向上への研鑽と実践的指導力の向上をめざし、授業力や生徒指導力を高める研修を展開して参りました。聴くだけの研修ではなく、受講者自身の振り返りの時間や受講者同士の交流の場を可能な限り設定するなど、研修の活性化に努めて参ったところです。研修の実施にあたっては学校現場の多くの先生方に講師をお願いしましたが、ご多用の中を快くお受けいただき、熱い思いと意気込みにあふれるご指導を賜りましたこと、たいへんありがたく思っております。

さて、厳しい社会情勢の中、学校教育に寄せられる県民の期待や願いに真摯に応えることは教育に携わる私たちの責務であります。特に、本県がめざす児童生徒の「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」に「自然や地域と共生する力」を加えた「生きる力」の育成においては、授業力や生徒指導力など教職員としての確かな力量形成を図ることが重要な課題であると考えます。

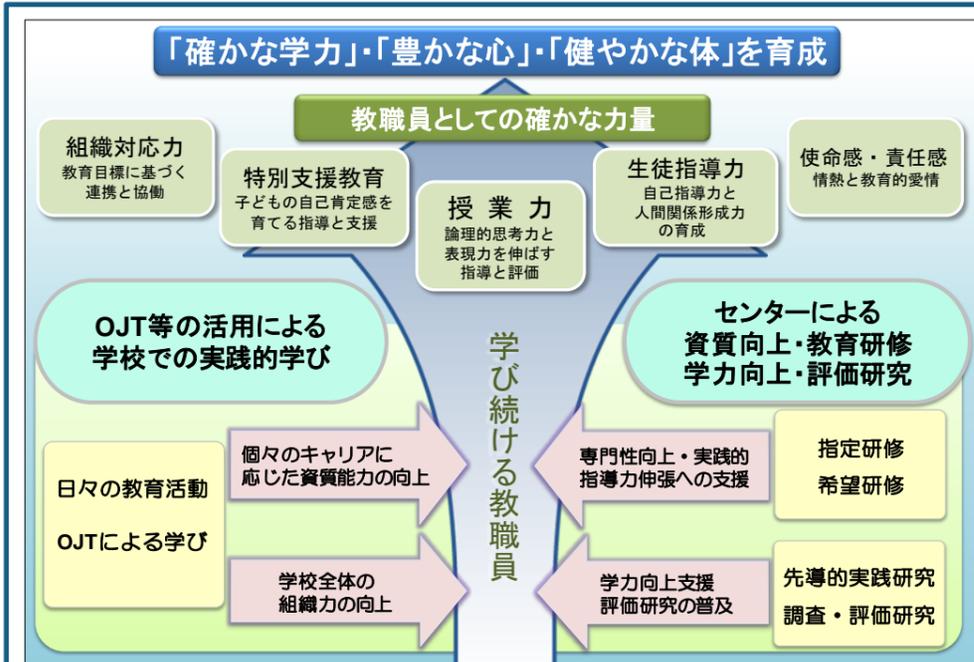
とりわけ、授業改善を学校全体でどのように企画し取り組むかが大きく問われている中で、次年度は、教職員の実践的指導力や組織マネジメント力の向上をめざして、研修体系の見直しを行います。教科指導力の向上と教科主任としての力量形成を通して人材育成および学校活性化を図る教科主任指導力向上研修や、OJTによる実践的学びを取り入れた5年経験者研修などを中心に、校内研修での実践的学びとセンター研修での学びをPDCAサイクルに位置付け、教職員の教育力を高める支援を進めて参ります。共同的な学びのもとに児童生徒一人ひとりの力を引き出す授業づくりをともに進めていければと考えております。

来年度も、学び続ける教職員を支える総合教育センターとして、諸事業に取り組んで参ります。どうぞ宜しくお願いいたします。



Challenge! 総合教育センターは滋賀の教育を先導します!

—教職員の専門性・指導力と資質の向上を目指して—



当センターでの理論的研修や受講者どうしでの研究協議による学びと、OJT等による日々の教育活動を通しての実践的学びを積み上げていくことで、教職員としての確かな力量形成を目指します。

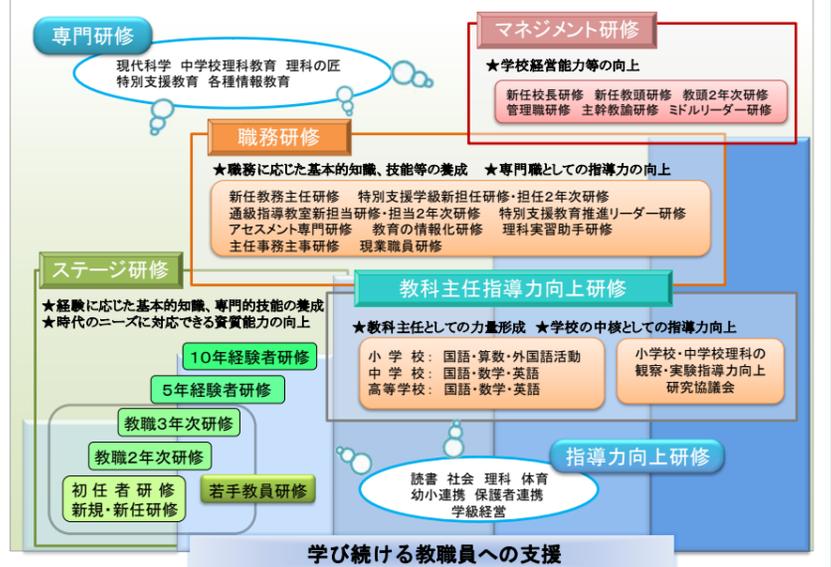
◇重点◇

- 1 資質向上・教育研修**
 授業力・・・児童生徒の思考力・判断力・表現力を育む指導力
 生徒指導力・・・児童生徒の自己指導能力を育む指導力
 特別支援教育・・・特別な支援を要する子どもへの適切な指導や支援
 組織対応力・・・多様化する諸課題に対応する実践力
 使命感・責任感・・・職務に対する使命感・責任感、自主的に学び続ける力
- 2 学力向上・評価研究**
 学力向上の推進・・・児童生徒の「確かな学力」の育成
 研究成果の活用・・・今日的課題に対応した教育研究の実践



当センターは、「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり」のために、「教職員研修」と「教育課題研究」の2つの柱を軸にして、学び続ける滋賀の教職員の皆さんを支援します。

平成26年度 滋賀県総合教育センター 研修体系図



教職員の実践的指導力や組織マネジメント力の向上につながる研修を行います。

- 指定研修
講義だけでなく、演習・実習を中心に、系統立てて研修を組み立てました!
- 希望研修
すぐに授業に生かせる指導力の基礎基本の定着と専門性の向上を目指します!
- ☆ステージ研修 ☆職務研修 ☆専門研修
- ☆マネジメント研修 ☆指導力向上研修
- ☆教科主任指導力向上研修

教科主任指導力向上研修がはじまります!

-教科指導力の向上と教科主任としての力量形成を目指します-

- 県教育委員会学校教育課と当センターの合同開催とし、悉皆研修として実施します。
- 小中高の教科主任各校1名を対象とし、人材育成および学校活性化を図ります。

授業が変わる! 子どもが輝く!

○実施教科等
小学校・・・国語科、算数科、外国語活動
中学校・・・国語科、数学科、英語科
高等学校・・・国語科、数学科、英語科

- 内容
- 小中学校・・・①付けたい力を明確にした授業づくり
②授業実践を基に、授業改善の視点(なぜを問う発問、教材で付ける力の吟味、予習のさせ方、記述式評価問題等)から授業を検証し、更なる授業改善のあり方をさぐる
 - 高等学校・・・①授業改善と評価の在り方について
②学力向上全体計画・教科別アクションプラン等の作成について

5年経験者研修が変わります!

教職5年を経験した教員の授業力・生徒指導力にかかる課題解決を図る中で、学校内での若手教員を中心としたグループOJTを実施します。

このOJTでは、受講者、若手教員、中堅教員を含めたグループでの「学び合い」「高め合い」により受講者の職能の向上を図り、コミュニケーション力やチームで協働する力を高めるとともに、それに伴う中堅教員やベテラン教員の人材育成の意識を高めます。

5年経験者研修の構造図

当センターでは、3日間の校外研修を充実させ、受講者それぞれの課題解決に向けた目標設定のための視点の提供をはじめ、「今求められている授業力の向上」や「生徒指導力の向上」に関する研修、1年間のOJTを総括する場と今後の目標設定のための研修を実施します。



平成25年度センター事業にかかるアンケート結果より (10月に実施)

県内の幼、小、中、高、特別支援学校の教職員や市町教育委員会、教育研究所の教職員を対象に、総合教育センター事業(研修、研究、特別支援教育相談、学校支援)についてのアンケートを実施しました。その中からいくつかを紹介します。

いただきましたご意見を、当センターの運営に生かしていきたいと思ひます。

*回答数は、1,406人でした。ご協力ありがとうございました。

